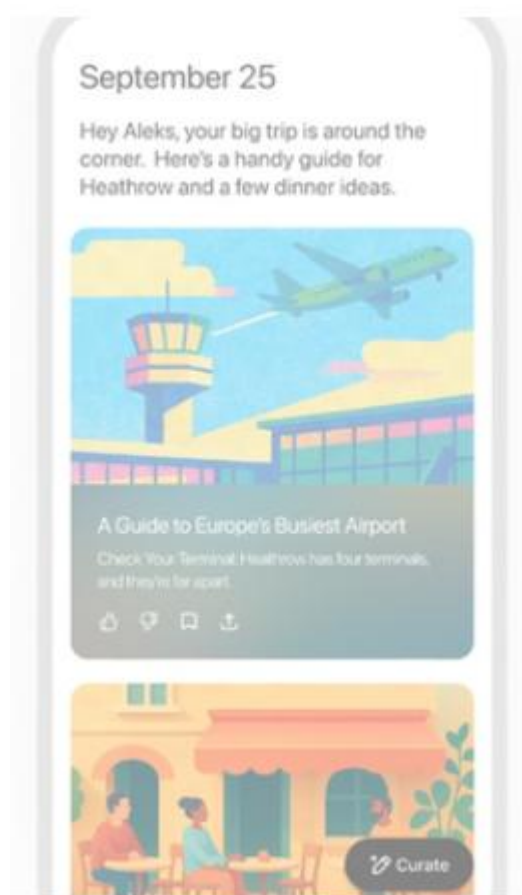

OpenAI, ChatGPT Pro 新機能 「Pulse」

23161425 NA SEUNGJAE

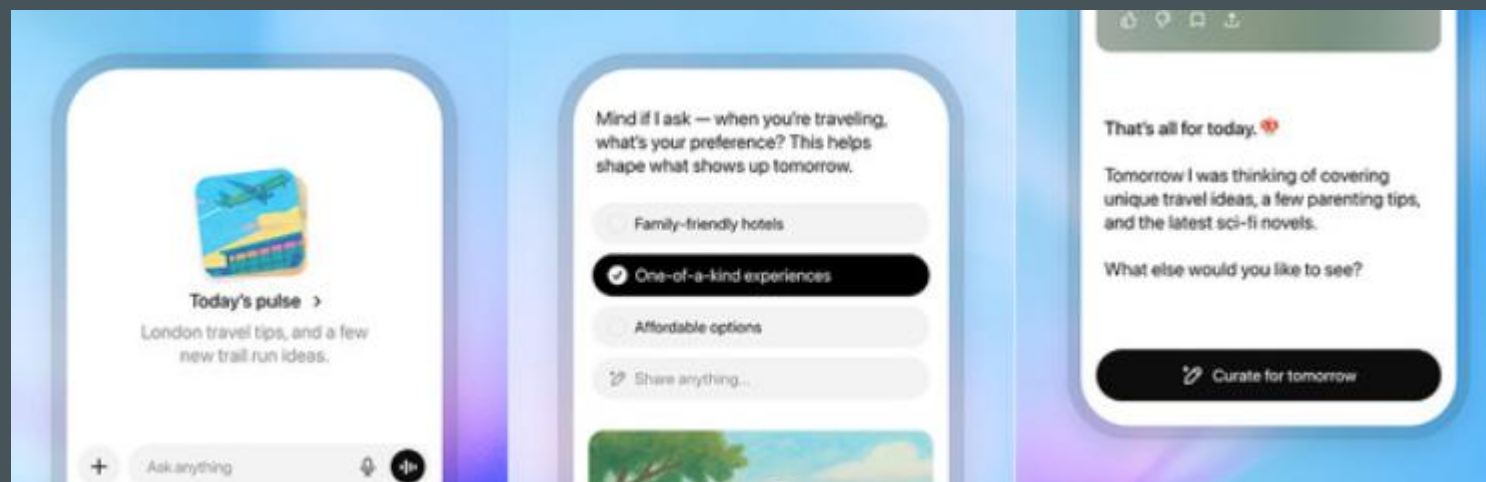
羅升載 (ナ スン
ジェ)

背景



OpenAIは単なるQ&Aチャットボットを超え、能動型AIアシスタントを目指す

近年、高負荷機能を上位料金プラン(Pro)に優先的に提供する戦略を推進



「Pulse」 紹介

月200ドルのProプラン専用機能

毎朝5~10個のオーダーメイド要約レポートを提供

情報源: ユーザー対話記録、直接フィードバック、Gmail・Googleカレンダー連動

Pulse 作動方式

1. 情報収集: ユーザー会話記録・メモリー・フィードバック +Gmail/カレンダー連動
 2. 非同期処理: 夜間自動実行、関連性・安全性検証後 5~10個 主題キュレーション
 3. 朝の要約提供: 視覚カード(visual card)の形でアプリ実行時に表示
 4. ユーザーインタラクション: 詳細確認・後続対話・フィードバック (👍 / 👎)
 5. 活用: 日程/メール要約、旅行・イベント関連情報自動提供
- ➡ 特徴: 能動型準備(プロアクティブ)、フィードバック反映、今後の行動代行(予約・メール作成)の拡張が可能

機能デモ事例

ニュースの要約: アーセナル FC関連の最新ニュースのまとめ

個人提案: 家族旅行プラン、ハロウィン衣装おすすめ

リアルタイム連動: Gmail重要メール抽出、カレンダースケジュール自動生成

期待効果

ユーザー側面：朝の情報収集時間の節約、個人秘書レベルのカスタマイズ

ビジネス面：Proプランの収益化、AIアシスタント購読モデルの強化

今後の展望

段階的拡大: Pro → Plus → 全ユーザー

高度な自律性: レストランの予約、メール返信のドラフトの自動作成

目標: 誰もが活用できるAI秘書

結論

PulseはAIの進化方向を示す機能

単純対話型モデルから生活・業務自動化プラットフォームに
拡張

OpenAIの差別化戦略: 上位プラン+自律型AI

コメント

GPTをさらに自動的なアシスタントに発展させる試みであることを認めながらも、学習・調査中心のユーザーの立場では「SNSのように変わる姿」が不安だ。

これ、いろんなアプリを横断できるならメチャクチャ便利だし、アプリみたいなものもいらなくなるのでは？そしたらそもそもスマホ自体がらりと変わるかもしれません。

自身が追いたい、追うべきテーマとして、スポーツなどの推し、仕事に関連した専門領域が明確にあればまずは有用だろう。

ただ、エコーチェンバーやフィルターバブルに囲まれた現代においては、自身から一定距離があるテーマの情報収集が課題だと感じる。

ChatGPTはニュース要約を超えて、自分向けに先回りして準備してくれるアシスタントへと進化している。

感想

Pulseが私たちの生活にどんな変化をもたらすだろうか？

企業と個人、どちらがより大きな恩恵を受けるだろうか？

私はグーグルホームという機械を通じて朝起きたら天気を聞いたり音楽をかけてくれと言ったりする。

さらにIOT機能もあり、望むならその機能を利用することもできる。

グーグルのGeminiも十分にこのような技術力を持っていると思うから、これと似たもの、そしてIOT機能の追加のようなもっと発達したものが出てくると思う。

ご清聴ありがとうございました。